

一般演題 (ポスター1)

P6 当科における高齢者サルコイドーシス症例の検討

○菅 貴将¹⁾, 安東 優¹⁾, 牛島量一¹⁾, 小野朋子¹⁾, 橋本武博¹⁾, 城 幸督¹⁾, 山末まり¹⁾, 竹野祐紀子¹⁾, 安田ちえ¹⁾, 水上絵理¹⁾, 向井 豊¹⁾, 吉川裕喜¹⁾, 石井稔浩^{1,2)}, 竹中隆一¹⁾, 鳥羽聡史¹⁾, 橋永一彦¹⁾, 串間尚子¹⁾, 梅木健二¹⁾, 濡木真一¹⁾, 時松一成¹⁾, 平松和史¹⁾, 宮崎英士²⁾, 門田淳一¹⁾

大分大学医学部 呼吸器・感染症内科¹⁾

大分大学医学部 地域医療学センター²⁾

【背景】 高齢発症サ症の臨床像についてのまとまった報告は少ない。

【目的】 高齢者サ症の臨床像について検討する。

【方法】 対象は、2002年から2013年に当院で組織学的にサ症と診断された110例。65歳以上で診断された症例を高齢者サ症とし、診療録を参考にretrospectiveに検討した。

【結果】 高齢者サ症は26例であった。23例で肺外病変を有し、主な病変は眼病変18例 (69.2%)、皮膚病変8例 (30.8%) であった。胸部レントゲン所見は、0期:3例, I期:7例, II期:14例, III期:2例であった。血液所見 (中央値) はACE 22.8 IU/L, Lysozyme 12.9 μ g/ml, sIL-2R 1065.5 U/mlであり、いずれも非高齢者と比較し有意差を認め

めなかった。診断後経過を追えた20例において、4例 (20%) でステロイド治療が導入され、16例 (80%) が無治療経過観察されており、2年後寛解に至った症例はなかった。

【結論】 高齢者サ症は、サ症診断症例の中で約20%を占め稀ではなかった。多くの症例で胸郭外病変を認め、2年後寛解の可能性も低いので、長期的な経過観察を要する。

P7 肺高血圧症を合併したサルコイドーシスの臨床像

○建部俊介, 杉村宏一郎, 瀬川将人, 後岡広太郎, 青木竜男, 三浦正暢, 山本沙織, 佐藤 遥, 佐藤公雄, 福田浩二, 下川宏明

東北大学大学院 医学系研究科 循環器内科学

【背景】 サルコイドーシスに合併する肺高血圧は国際臨床肺高血圧分類の第5群に位置する。しかし合併頻度が低く、成因や血行動態について本邦からの報告は少ない。

【目的】 当科の肺高血圧症を合併したサルコイドーシスの臨床像を明らかにすること。

【対象と方法】 2001年~2014年7月の間、当科で精査・加療を行ったサルコイドーシス115例の内、66例の右心カテーテル検査を解析した。肺高血圧 (平均肺動脈圧 \geq 25mmHg) は10例 (15%) に認められた。9例 (平均肺動脈圧 36mmHg) は左房圧上昇に伴う肺高血圧で全例、心サルコイドーシスの診断 (3例は組織診断) となりプレドニンで加療された。心機能低下例には β 遮断薬、RAS阻害薬を導入した。重症僧房弁閉鎖不全の1例が術後に死亡した。一方、肺動脈性肺高血圧の1例 (平均肺動脈圧34mmHg) の心サルコイドーシスは否定された。低酸素血症に対しプレドニ

ンを使用していたが、PDE5阻害薬を追加した。4年の経過中、右心不全の増悪はない。

【結語】 肺高血圧は病態により治療法が異なる。肺高血圧が疑われるサルコイドーシスでは病態の鑑別に右心カテーテル検査が必要である。

P8 当院において肺高血圧症を認めたサルコイドーシス症例の検討

○宮下直也¹⁾, 井窪祐美子¹⁾, 直井兵伍¹⁾, 東海林寛樹¹⁾, 川述剛士¹⁾, 田中健介¹⁾, 鈴木未佳¹⁾, 河野千代子¹⁾, 山田嘉仁¹⁾, 山口哲生²⁾, 武村民子³⁾

JR東京総合病院 呼吸器内科¹⁾

JR東京総合病院 救急総合診療科²⁾

日本赤十字医療センター 病理科³⁾

1例目: 44歳男性。1994年に組織診断群のサルコイドーシスと診断され、無治療経過観察されていた。2004年当院初診。喘息様症状に対しプレドニン30mg/day内服開始。以降は経過中にM.aviumやアスペルギルス症感染、両側肺気胸などを認め、呼吸困難は増悪傾向で2007年在宅酸素療法を導入。以降呼吸困難、下腿浮腫のさらなる増悪あり、CTでは経年的に肺静脈の拡張を認めていた。心エコー上肺高血圧症が疑われ2010年11月入院。入院後は症状改善なく、右心不全の増悪にて死亡した。

2例目: 41歳男性。30歳時に組織診断群のサルコイドーシスと診断された。MRC3度の呼吸困難を認め、PSL 15mg/dayにて治療開始。経年的に酸素化の軽度の悪化を認めており、2014年3月に

右心カテーテル検査を施行し、平均肺動脈圧30mmHgと肺高血圧を認めたため、シルデナフィル40mg/day開始となった。

その他、荒蕪肺を認めたサルコイドーシス症例の血行動態についても評価して報告する。